

5月末刊行

# 光を見た

## ハンセン病の同胞たち

きょうだい

四六判 336頁 本体 2200円(税別)

趙根在[著]



昨年(2023年)「原爆の図丸木美術館」において大規模写真展が開催され、多くの反響を呼び、再評価される。

1960年代初頭から1980年代初頭にかけて、全国各地のハンセン病療養所を訪れ、ハンセン病に関する事柄を記録し続けた、元炭鉱労働者で、在日朝鮮人二世の写真家による自伝的回想と撮影写真を収録。

ハンセン病を撮り  
続けた稀有な  
写真家は、  
なぜ生まれたのか。

趙根在 (チョウ・グンジェ、1933～1997年)



愛知県生まれの在日朝鮮人二世の元炭鉱労働者、写真家。中学三年から炭鉱で働き、その後、映像制作現場での照明の仕事などを経て、1961年より多磨全生園を皮切りに、全国各地のハンセン病療養所を訪れ、以後、20年間にわたり、入所者、建物・施設、行事などの写真を撮影する。その点数は少なくとも2万5000点におよぶ。写真撮影から離れて以降、ハンセン病問題を根源から問い直す研究に打ち込む。撮影フィルムは、国立ハンセン病資料館に所蔵されている。

写真集に『趙根在写真集 ハンセン病を撮り続けて』(草風館、2002年)、『詩と写真 ライは長い旅だから』(詩・舒雄二、皓星社、1981年。2001年にブックレットとして再刊)、監修書に『写真万葉録・筑豊』(全10巻、1984～86年、葦書房、共同監修者・上野英信)がある。

図書出版クレイン 〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町 1-32-9 <http://www.cranebook.net>

冊	TEL 0422-7780	クレイン	書店名	ご注文書
	FAX 0422-7781			
	光を見た ハンセン病の同胞たち (著+田200P+装)			
	1-66-906681-4-82978-SBZ			

ご注文は JRCまで FAX 03-3294-2177 TEL 03-5283-2230